

平成13年度図書館業務報告

開館日数と利用者

年間利用者（入館者）は本館が延べ138,522人、分館が8,108人であり、合計146,630人で、一日平均の利用者は557.6人となった。

なお、本年度より開館日数を前年度より12日増加させて263日とした。同時に平日開館日の開館時間は本館を50分延長して午後9時20分（土曜日は午後8時）までとし、分館も同じく80分延長させて午後6時20分（土曜日は午後5時）までとした。

また、平成10年度より始めた卒業生の利用制度の登録者は51人であった。さらに、一般市民を対象にして平成12年度より始めた京都外大図書館市民利用制度は15人が登録して、本学図書館を利用した。

利用状況（レファレンス）

利用者に対し資料活用を支援するレファレンス・サービスは、事項調査68件、所蔵調査697件、利用指導262件、合計1,027件であった。

他大学図書館との相互協力

他大学図書館との相互協力は、相互利用（閲覧）、相互貸借、文献複写、外部レファレンス等の業務を併せて、本学から他大学への依頼が517件で、他大学からの申し込みは517件であった。

館外貸出総数

利用者に対する図書館の館外貸出数は、本館と分館を合わせて延べ31,023冊（和漢書28,370冊、洋書2,653冊）であった。

利用指導ガイダンス

利用者が図書館を効果的に使うための利用指導ガイダンスは、17件延べ23回開催し、189人の参加があった。内訳は、図書館主催ガイダンスが6件、延べ12回で24人の参加があり、授業内ガイダンスは11件で165人が参加した。

なお、別に新入生全員を対象にした利用指導オリエンテーションを4回に分けて実施した。

図書館の増加数と蔵書数

図書館資料の年間増加数は、寄贈図書557冊を含めて9,003冊（和漢書6,195冊、洋書2,808冊）であるが、別途、和漢書497冊の廃棄手続きを行い、蔵書数は466,903冊になった。

学術雑誌の所蔵数

学術雑誌の所蔵数は4,033種（和雑誌2,591種、洋雑誌1,442種）で、継続雑誌数は2,535種（和雑誌1,935種、洋雑誌600種）であった。

整理数

受入図書館資料の整理数は、9,709冊（和漢書7,112冊、洋書2,597冊）であった。

カード目録からコンピュータ目録への移行状況

カード目録を館内総合データベースへ移行する所謂、遡及入力とは和書と英語図書を重点にして、合計11,031件を行い、遡及総数は72,059件に達した。

館内総合データベースのデータ蓄積数

館内総合データベースの書誌データ入力数は、新規図書と遡及図書をあわせて20,740件が入力され、蓄積数は286,411件となった。

施設・設備の整備と改善

館内の設備・施設の改善については、第2閲覧室北側に隣接する旧機械室を改修して検索コーナーを作り、コンピュータ端末機3台を設置した。これによって、同閲覧室を使っている利用者の中で急に資料検索が必要になった人は、極めて近い距離から求める資料の所在を確認することができるようになった。

コンピュータ・システムの整備

コンピュータ・システムの整備と改善については、第2期5カ年計画の2年目の年であったことが